

講義科目 : 経済学史	単位数 : 2
担当 : 田添 篤史	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

経済学の歴史を学びながら、現代の経済学がどのような流れの中で生み出されてきたのかを理解していきます。それにより経済学の基本的な考え方を身につけることを目標とします。また、主流派経済学とは異なる経済学にどのようなものがあるのかについても知り、多様な考え方を身に着けることも目標とします。

授業計画

- 第1回 経済学史とは何か、なぜ学ぶのか
- 第2回 アダム・スミス(1)：自由取引の利点、分業と生産性
- 第3回 アダム・スミス(2)：労働価値説、階級と所得の対応関係
- 第4回 リカード(1)：価値構成説と価値分解説、均等利潤率
- 第5回 リカード(2)：自然価格と投下労働量、賃金の決定
- 第6回 リカード(3)：地代の決定、比較優位の考え方
- 第7回 マルクス(1)：資本主義をどのようにとらえるか
- 第8回 マルクス(2)：商品生産社会、階級社会、階級分析
- 第9回 マルクス(3)：公正な賃金と搾取、価値論
- 第10回 マルクス(4)：疎外、未来社会論
- 第11回 限界革命：方法論の転換
- 第12回 マーシャル(1)：需要曲線の導出
- 第13回 マーシャル(2)：供給曲線の導出、剰余分析
- 第14回 ケインズ(1)：新古典派批判とその独自性
- 第15回 ケインズ(2)：有効需要の原理

教材・テキスト・参考文献等

適宜資料を配布します。また授業中に参考文献を指定します。

成績評価方法

- 毎回の感想及び質問：30%
- 課題レポート：70%

その他

経済学の知識については特に必要としません。